



昭和33年通常点検



昭和34年6月交通安全

みぶまち版

懐かしの壬生町
広報紙の歴史
昭和三十年代
広報編



昭和35年3月壬生小学校

町章きまる

全国から応募四二九

壬生町のシンボルとしての町章の募集は昨八月第一回を以て、一等賞がなかったため、十一月再募集を実施しました。町内および全国から熱心な応募があり、合計で四二九件の多数の応募がありました。

六月十一日の町章審査委員会
で第三次審査の審査を行ない、その結果が以下の通りです。

第二次審査の結果

- 一等賞 森田氏 岐阜県 津市
- 二等賞 岡田氏 岐阜県 津市
- 三等賞 岡田氏 岐阜県 津市
- 北二番 一三三浦氏

昭和35年7月壬生町章きまる



昭和35年9月民謡踊り大会



町政だより第1号は昭和34年1月号

昭和36年2月安塚小学校学芸会

のびのびとした学芸会

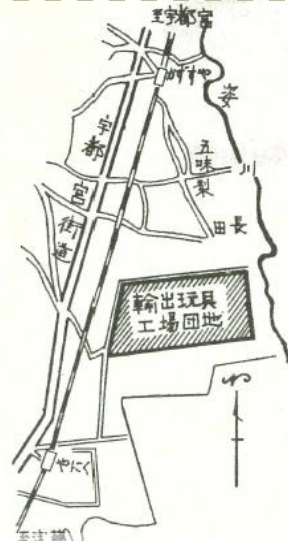
三つの卒業生直近のびのびと学芸会を、記念撮影や学芸会を忙しむるの姿を大はばらやましている。(安塚にて)



昭和36年5月好調な苺出



昭和37年3月壬生高校開校



昭和38年7月輸出玩具団地(現在のおもちゃ団地)に政府の認可

近代的な集団工場

設備投下資金32億円

中小企業団地として助成の対象になった玩具団地は、面積が約八十六万

壬生町の工業開発構想(約二百九十七万平方メートル(九十万坪)の一翼をなす輸出玩具工場団地は通産大臣より工業団地の認定(昭和三十七年十月十日)も下り、又、国や栃木県の助成措置も本決まりとなり(昭和三十八年六月二十五日)団地内の用地造成も本格的に仕上げの段階になった。農地転用の申請書は農林省へ提出中であり、その許可のあり次第、整地と同時に工場建設が開始される予定である。

輸出玩具団地に政府の認可

敷地面積二十八万六千坪(95町3反歩)

方米(二十八万六千坪)壬生町大字安塚字壬生(たくにう)の開拓地



昭和39年2月



昭和39年12月 建設進む

懐かしの広報紙をHPで見ることが出来ます。



政府の助成を喜ぶ町長と富山玩具団地理事長(中央)

壬生町総務部総合政策課情報広報係 TEL0282-81-1814
平成27年7月 壬生町公式WEB <http://www.town.mibu.tochigi.jp>,
昔の広報紙をホームページで見ることが出来ます。
★広報紙データベース
<http://www.town.mibu.tochigi.jp/bunya/kouhou-db.html>

みてね!

